

ラプロス

2018年
9月号
Vol. 62

- 宅地（戸建）
○プロスベリテ井尻1丁目
3区画 **好評分譲中！**
- プロスベリテ鳥飼6丁目
2区画 **完売御礼！**
- New！！プロスベリテ別府
1区画 **近日公開！**
- New！！プロスベリテ飯倉
1区画 **近日公開！**
- 新築分譲マンション（販売受託）
○レジデンシャル武蔵ヶ丘
総戸数70戸 **好評分譲中！**
URL <http://634-mkn.jp/>
- ブランシエラ高宮五丁目
高宮駅徒歩3分 総戸数15戸 **好評分譲中！**
URL <http://www.takamiya5.jp/>

発行：株式会社ラプロス
発行人：代表取締役 樋口繁樹
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目
12番1号 日之出福岡ビル5階
TEL092-737-2211
FAX092-737-2212
弊社のHPは下記URLよりご覧いただけます。
<http://www.lapros.co.jp/>



近年の震災・豪雨による被害にあわれた方々には、謹んでお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復旧を心より祈念いたします。
私たちラプロスは、できることから被災地への復興支援に貢献をしたいと思います。



猛暑に一服の涼をもとめて

今年の夏は7月上旬の梅雨明けとともに、一際暑いまさしく酷暑の日々が続いております。冬が寒い年は夏が暑い！と昔の人は（だけでなく気象予報士も）言っておりましたが、今年は数年ぶり（四国の四万十市で40度を越えたのが確か5年前です）に半端ない！っていうやつです。

昔から暑い時には「涼を求めて」をテーマにどこに行こうか、何をしようか、と考える性質なのですが、僕の選ぶ独断と偏見による「三大『涼』情報」を紹介いたします。

堂々の第1位！【京都貴船の川床】十数年前のことですが夏休みを使い愚妻を伴い京都へ旅行に行きました。風情ある街並みを楽しむつもりが3分歩くと息苦しくなり、京都盆地を実感させられる蒸し暑さに襲われ、街中から逃げるように鞍馬貴船方面の山へ涼を求め逃げました。そこには京都ならではの夏の暑さを涼やかに過ごす工夫で作られた川床料理旅館が軒を連ねており、私たち同様下界から涼を求め逃げてきた人々が沢山いました。外でのおもてなしで、出された塩鮎などの懐石料理は目で見て涼み、食して涼みで、時々川に足をつけてみたりして、身も心も涼感を堪能したことを今でも忘れません。きっと今年の夏はあの山の中が大渋滞なのではないかと察します。

続いての第2位！【韓国釜山発祥のかき氷『ソルビン』】こうも暑いと体の芯か

ら冷やしたいーそんな貴方にピッタリなのがかき氷ですね。食べて脳天にツーンとくる痛さがいいですね。かき氷の中でもここ数年はまっているのが、韓国のかき氷『ピンス』です。そして中でも最近のお気に入り『ソルビン』。ピンスの氷は日本のかき氷と同じように粒上のジャリジャリ食感ですが、ソルビンはパウダースノーです。なんでも氷自体にミルクが入っているので最後の一口まで美味しい！さらにトッピングがいい。きな粉、季節のフルーツ、イチゴにマンゴーさらにメロン。想像しただけでも冷や〜とします。（すみません、食べた人にしかわかりませんよね〜）この夏休みに堪能しました！ちなみに釜山に行かなくても数年前に福岡にも出店しています。天神のVIORO地下2階にありますよ。ツーンと脳天にきて冷える感じがこの夏には最高です！

そして第3位！【博多湾の海風】今年の山笠は梅雨明け後の猛暑で9日からどうなるのかいな〜とっていました。9日は御汐井取り。石堂橋で時間調整を兼ねた休憩を少しはさむのですが、夕方5時半から6時に御笠川にかかる石堂橋を吹き抜ける海風の一瞬の涼しさに、あ〜昔のクーラーやら扇風機やら文明の利器がなかった時代の人たちの行動パターンは理にかなっているな〜、とつくづく思いました。川沿いに流れるように吹いてくる海風は体の芯からではなく、表面の汗を拭きとってくれるって感じでしょうか？以上、僕が選ぶ勝手ながらの三大『涼情報』でした！



代表取締役 樋口繁樹

住まいの暑さ対策「一戸建て2階の暑さ対策」 文：田中

1階で涼しく過ごしていても2階に上がるとサウナのような状態！ということはありませんか？今回はそんな2階を少しでも快適にする暑さ対策をご紹介します。

■2階の熱気を抜く

1階よりも2階が極端に熱くなる主な原因

- 1、暖かい空気は上にあがり2階に熱気として溜まる
- 2、日差しが屋根に照り付け、屋根裏に熱気が溜まり2階が暑くなる

の二つです。2階に溜まった熱気を外に出しましょう。

■空気を流そう

窓を開け熱気を外に排出します。効率よく排出するポイントは

①向かい合った窓を開ける

・風が入る窓を小さく開け、出る方を全開にすると効果的。入る側が涼しいとより効果的。

②低い窓から高い窓へ空気を流す

・空気は暖まると上昇することを利用します。窓と窓の高さに差が大きいほど空気の換気量が増えます。

③空気が動かないとき

・風の出口側窓の前に扇風機やサーキュレーターを置き換気扇のように使います。

■窓の外から防ぐ

一番熱の出入りが大きいのが窓。室内へ入る熱の70%が窓から入るといわれます。

対策は、よしずやサンシェード、グリーンカーテンで外から日射を防ぎつつ風を通すことです。グリーンカーテンなら植物からの水蒸気でより効果が期待できます。

■屋根裏の熱気対策は？

天井裏に換気扇を設置します。費用は掛かりますがそう高くはありません。設置できるかどうかご不明な場合はぜひご相談ください。

今回の対策は、戸建てに限らずマンションも基本は変わりません。ぜひ、お試しください。※酷暑時は無理をせずエアコンを利用してください。2階リビングならリビングでエアコンを使用すると1階まで冷気が回り効率よく冷却できたりします。

毎度おなじみ私アラキの戸建てへの思いをつらねるこのコーナー、今回で42回目となりました。すでに夏の暑さは峠を越したようですが、まだまだ暑い日が続きます。今年の夏休みはいかがでしたか？ 夏休みといえば思い出づくり、そして作文。そんなわけで今回はちょっと脱線して作文、「夏休みの思ひ出」。(近ごろいつも脱線していますが)

8月半ばのいちばん暑いとき、私の出身校で2日間にわたるイベントがありました。大学のキャンパス移転に伴い、多くの卒業生や今の学生たちが建築を学んだ校舎を8月末で引越すことになったのですが、そこでの最後の記念となるイベントでした。実行委員は1年前から構想を重ね、私を含めた実働部隊は6ヶ月前から準備に取り組みました。卒業して40年の超OBを先頭に、私たち中間世代のOBが中心となり、講演、展示・発表、設営、飲食といったチームに分かれ、それぞれが知恵を出し合っ

て本番に向けて役割を果たしていきます。活動の中ではなかなか会うことのできない諸先輩や後輩、現役の大学生たち、日々研究に勤しむ先生方との交流という得難いものがありました。開催の1週間前から会場となる教室や製図室を設営し、講演会場や展示会場をつくり、本番を迎えました。建築学科が創立され約60年。会場の一角に展示されたさまざまな研究成果や歴代の学生設計課題は、その時代背景や技術革新を体感するのに十分です。大学4年間の最大の課題として、卒業設計という単位取得課題があります(卒業論文もありました、地獄!)。卒業設計のテーマは自由で、自分が表現したいことや訴えたいことを建築という形で表すわけです。展示された40年前の学生のそれは、市民会館や交通施設といった、新たな建物をつくることをテーマとしているものがほとんどです。新しい施設をつくることで人々の暮らしを豊かにしたいという当時の思いを表現しています。コンピューターなど無い時代ですから、図面も文字も手書き、パースや模型も手書き・手作り、今見るとローテクですが当時の学生の力強さを感じます。

最近10年くらいの若い世代の卒業設計は、都市や街をテーマにしたものが見られ、既存の施設を見直したりヒューマンスケールの視点で都市空間を再構築したりすることで、より都市生活を快適にするという提案が多く見られます。パソコンを駆使した図面やCGパースは色付きで美しく、今にもできあがりそうな設計です。両者を見て、どちらが良いというわけではなく、いや、どちらもその時代の中で使える技術や知識の中で自分にできる最大限の表現をしているということでは共通しています、それぞれ素晴らしいものがありました。

ずいぶん前に定年退官された先生方や現役学生たちのエネルギーに面を触れたり、飲んで騒いでバカなことをやったりした2日間。慣れ親しんだ学び舎を背景として自分たちの居場所を確認し、これから進む道を再認識した時間。もうじきこの教室棟は無人になり、解体されてしまいます。その教室棟を見上げて、改めて良い建築であると思いました。

建築というものを語るには、あまりにも紙面が狭いのですが、ひとつだけ言いたいのは、自分で言うのもなんですが6ヶ月間にわたる準備の中でいろいろなアイデアを積み上げ、きちんとした工程を組み、正確な段取りと人の手配をし、事故もなく滞りなく役割を終えることができたのは、建築づくりで重要な設計・提案力と品質管理・工程管理・安全管理・コスト管理に通じると思います。そんなことを汗まみれになって焼鳥2,000本を2日間焼きながら考えました。私は飲食チーム焼鳥班長だったのでした。



秋に向かって涼しくなってくる9月になってきました。

お久しぶりです。今年もダイエット継続中の山脇です。暑い夏も過ぎつつある今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。今年の夏はとても暑く夏バテされた方も多いのではないのでしょうか。もうすぐ秋になります。そう！おいしいものが待っている季節になります！地産地消という言葉もありますが、それだけではなく、福岡にしながら全国各地のいろんな食べ物を食べたい！そんなとき皆さんはどこに買いに行きますか？スーパーですか？はたまたコンビニですか？私は良く大型商業施設に行きます。豊富な店舗数に福岡では珍しい店舗が入っていたりと、ただふらふらしているだけでもワクワクしますよね。

今、福岡では空前の大型商業施設開発ブーム？です！すでに開発された博多駅周りのほかに今後大きな商業施設の開発があります。ホークスタウンモール跡地の「マークイズ福岡ももち」、西新エルモールプラリバ跡地の再開発、博多区那珂の青果市場跡地の「ららぽーと」、福ビル・天神コア・天神ビブレがある「福ビル街区」の商業・オフィス・ホテルの一体超高層複合型再開発(約96mの高さ)などの「天神ビッグバン」などなどワクワクする開発が目白押しです。

福岡は政令指定都市の中でも一番の人口増加数・人口増加率を誇り、全世界においても都心から国際空港までの距離が近いコンパクトシティです。そんなコンパクトシティにおいてこんな多くの開発案件があるということは今後も福岡が大きな発展を遂げていくと考えて良いのかもしれませんが。

そんな福岡に全国のおいしいものが揃うのではないかと思うとワクワクが止まりません。私のダイエットへの道も険しくなりそうです(笑) 皆さんはどここの開発が楽しみですか？今後の福岡に期待ですね。



今年は「平成最後の夏」ということでいつもと違う夏の過ごし方をされた方も多いのではないのでしょうか。もしくは、いつもと変わらない夏を過ごしたという方もいらっしゃるのかもしれませんが。

気になるのが次の元号ですが、どんな元号になっても平和な時代であってほしいですね。平成生まれの私が恐れることは、次の時代に生まれてきた若者に「平成か！」とツッコミを入れられることです。ああ、怖い。